



平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 7 月 31 日

上場会社名 椿本興業株式会社

上場取引所 東証・大証
第 1 部

コード番号 8052

(URL <http://www.tsubaki.co.jp>)

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 椿本 哲也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 宮崎 捷 TEL (06) 4795-8806

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績(平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 3 月期第 1 四半期	20,648	2.9	522	41.9	620	37.2	328	29.5
19 年 3 月期第 1 四半期	20,074	14.3	368	83.5	452	70.6	253	73.8
19 年 3 月期	93,749	3.1	2,273	29.2	2,415	30.7	1,170	21.3

	1 株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	10.20	—
19 年 3 月期第 1 四半期	7.90	7.88
19 年 3 月期	36.42	36.37

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	64,486	13,810	21.2	423.40
19 年 3 月期第 1 四半期	59,671	12,756	21.4	396.90
19 年 3 月期	65,650	13,326	20.1	409.81

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年 3 月期第 1 四半期	893	△14	379	7,705
19 年 3 月期第 1 四半期	△1,088	△20	452	2,677
19 年 3 月期	3,358	△12	△245	6,444

2. 平成20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日） 【参考】

（％表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率）

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		当 期 純 利 益		1株 当 たり 当 期 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中 間 期	48,000	4.2	1,110	1.5	1,200	2.5	610	10.3	18.98	
通 期	96,500	2.9	2,350	3.4	2,500	3.5	1,250	6.8	38.90	

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動） : 無

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔（注）詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、4ページをご参照ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期における国内経済は、産業機械受注が連続して上向きの傾向にあるといわれ、昨年引き続き好調を維持しております。

しかしながら、原油高、素材高等は収まることなく、先行きに今一步安心感のもてない状況となっております。

当企業グループの事業環境は、民間設備投資の好調を背景に、順調なスタートとなりましたが、夏場以降の受注動向にはやや不安要素もあり、より一層の営業努力が求められております。

また、一方では、来年度より本番となる財務報告にかかる内部統制の環境整備に費やされる事務負担も大きく、早期のシステム整備完了が重要な経営課題となっております。

このような中、当第 1 四半期の連結売上高は 20,648 百万円（前年同期比 102.9%）、連結営業利益は 522 百万円（前年同期比 141.9%）、連結経常利益は 620 百万円（前年同期比 137.2%）、連結四半期純利益は 328 百万円（前年同期比 129.5%）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期末の総資産は 64,486 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 1,164 百万円減少いたしました。流動資産は 51,647 百万円となり、1,819 百万円減少いたしました。主な要因は、営業活動に伴う現金及び預金の増加（1,261 百万円）や受取手形及び売掛金が決済されたことによる減少（3,502 百万円）であります。固定資産は、12,839 百万円となり、655 百万円増加いたしました。主な要因は、投資その他の資産に含まれる投資有価証券の時価が増加したものであります。

当第 1 四半期末の負債合計は 50,675 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 1,648 百万円減少いたしました。流動負債は 45,329 百万円となり、1,771 百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の決済による減少（3,936 百万円）や前受金の増加（2,137 百万円）であります。固定負債は 5,346 百万円となり、123 百万円増加いたしました。

当第 1 四半期末の純資産の部は 13,810 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 483 百万円増加いたしました。主な要因は、当四半期純利益（328 百万円）に加え、その他有価証券評価差額金の増加（340 百万円）による増加、配当金の支払（225 百万円）等による減少であります。

（キャッシュ・フローについて）

当第 1 四半期末の現金及び現金同等物は 7,705 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 1,261 百万円増加いたしました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を 639 百万円計上するとともに、売上債権の減少額 3,502 百万円、前受金の増加額 2,137 百万円を主な原因として増加する一方、たな卸資産の増加額 234 百万円、仕入債務の減少額 3,936 百万円、法人税等の支払額 761 百万円を主な原因として減少いたしました結果、合計で 893 百万円の増加となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出等により、合計で 14 百万円の支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増加額による収入 600 百万円に対し、配当金の支払額 225 百万円があり、合計で 379 百万円の増加となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成 19 年 5 月 15 日発表の通期連結業績予想を修正しておりません。当期の国内経済は、引き続き堅調に推移するものと予想しておりますが、アメリカ経済及び中国経済の動向、原油・素材等の高止まり等には不安要素もあり、楽観は出来ない状況であります。当企業グループの事業環境は、民間設備投資並びに東南アジア経済の好調を背景に順調なスタートとなりましたが、夏場以降の受注動向には一部業種において停滞の状況も見込まれ、より一層の営業努力が求められております。また当連結会計年度は、第 7 次中期計画スタートの時期であり、確実に中期計画をクリアしていく所存であります。

(連結業績予想)

連結売上高	96,500 百万円	(前期比 102.9%)
連結営業利益	2,350 百万円	(前期比 103.4%)
連結経常利益	2,500 百万円	(前期比 103.5%)
連結当期純利益	1,250 百万円	(前期比 106.8%)

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

- ◎ 固定資産の減価償却方法 年度見込額の中の当四半期分を計上
- ◎ 実地棚卸 省略 (継続記録法)

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

法人税法等の改正 ((所得税法等の一部を改正する法律 平成 19 年 3 月 30 日 法律第 6 号) 及び (法人税法施行令の一部を改正する政令 平成 19 年 3 月 30 日 政令第 83 号)) に伴い、平成 19 年 4 月 1 日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これに伴う損益の影響額は、軽微であります。

また、平成 19 年 3 月 31 日以前に取得した有形固定資産のうち、従来の償却可能限度額まで償却が到達している有形固定資産については、残存簿価を 5 年間で均等償却しております。これに伴う損益の影響額は軽微であります。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

椿本興業(株) (8052) 平成20年3月期第1四半期財務・業績の概況

I (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前連結会計年度 (平成19年3月期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資 産 の 部)				%	
流 動 資 産	53,467	51,647	△ 1,819	△ 3.4	46,594
現金及び預金	6,444	7,705	1,261		2,677
受取手形及び売掛金	37,439	33,937	△ 3,502		33,884
たな卸資産	7,476	7,711	234		7,212
前渡金	1,949	2,016	67		2,483
その他	412	513	100		655
貸倒引当金	△ 255	△ 237	18		△ 319
固 定 資 産	12,183	12,839	655	5.4	13,076
有 形 固 定 資 産	434	425	△ 8	△ 2.1	416
無 形 固 定 資 産	6	5	△ 0	△ 10.3	7
投資その他の資産	11,742	12,407	664	5.7	12,652
資 産 合 計	65,650	64,486	△ 1,164	△ 1.8	59,671

(負 債 の 部)					
流 動 負 債	47,100	45,329	△ 1,771	△ 3.8	39,972
支払手形及び買掛金	40,163	36,226	△ 3,936		35,094
短期借入金	93	693	600		696
一年内償還予定の社債	1,350	1,350	—		—
前受金	4,098	6,236	2,137		3,503
役員賞与引当金	103	—	△ 103		—
その他	1,292	822	△ 469		677
固 定 負 債	5,223	5,346	123	2.4	6,942
社債	—	—	—		1,350
長期借入金	2,000	2,000	—		2,002
退職給付引当金	917	932	15		863
役員退職引当金	566	440	△ 126		527
その他	1,739	1,972	233		2,199
負 債 合 計	52,324	50,675	△ 1,648	△ 3.2	46,914
(純 資 産 の 部)					
株 主 資 本	9,325	9,439	113	1.2	8,505
資本金	2,945	2,945	—		2,945
資本剰余金	1,813	1,805	△ 7		1,816
利益剰余金	4,656	4,759	103		3,835
自己株式	△ 90	△ 71	18		△ 92
評 価 ・ 換 算 差 額 等	3,853	4,205	351	9.1	4,120
その他有価証券評価差額金	3,842	4,183	340		4,117
為替換算調整勘定	11	21	10		3
少 数 株 主 持 分	148	166	18	12.6	130
純 資 産 合 計	13,326	13,810	483	3.6	12,756
負 債 及 び 純 資 産 合 計	65,650	64,486	△ 1,164	△ 1.8	59,671

(注) 増減は当四半期と前連結会計年度との比較で表示しております。

II (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	期 別	前年同四半期	当四半期	増 減		前連結会計年度
		(平成19年3月期 第1四半期)	(平成20年3月期 第1四半期)	金 額	増減率	(平成19年3月期)
		金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売 上 高		20,074	20,648	574	2.9	93,749
売 上 原 価		17,620	18,074	453	2.6	82,805
売 上 総 利 益		2,453	2,574	121	4.9	10,943
販売費及び一般管理費		2,085	2,052	△ 32	△ 1.6	8,670
営 業 利 益		368	522	154	41.9	2,273
営業外収益		109	120	11	10.6	253
営業外費用		24	22	△ 2	△ 10.3	111
経 常 利 益		452	620	168	37.2	2,415
特別利益		1	19	17	1,447.5	138
特別損失		—	0	0	—	6
税金等調整前 四半期(当期)純利益		453	639	186	41.0	2,547
法人税等		194	297	103	53.2	1,339
少数株主利益		6	14	8	133.7	37
四半期(当期)純利益		253	328	74	29.5	1,170

(注) 増減は当四半期と前年同四半期との比較で表示しております。

Ⅲ 四半期連結株主資本等変動計算書

当四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

(単位:百万円)

	株 主 資 本				
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計
平成19年3月31日残高	2,945	1,813	4,656	△ 90	9,325
当四半期変動額					
剰余金の配当	—	—	△ 225	—	△ 225
四半期純利益	—	—	328	—	328
自己株式の取得	—	—	—	△ 1	△ 1
自己株式の処分	—	△ 7	—	19	12
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)	—	—	—	—	—
当四半期変動額合計	—	△ 7	103	18	113
平成19年6月30日残高	2,945	1,805	4,759	△ 71	9,439

	評 価 ・ 換 算 差 額 等			少 数 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	為 替 調 整 勘 定	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		
平成19年3月31日残高	3,842	11	3,853	148	13,326
当四半期変動額					
剰余金の配当	—	—	—	—	△ 225
四半期純利益	—	—	—	—	328
自己株式の取得	—	—	—	—	△ 1
自己株式の処分	—	—	—	—	12
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)	340	10	351	18	369
当四半期変動額合計	340	10	351	18	483
平成19年6月30日残高	4,183	21	4,205	166	13,810

IV (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	前連結会計年度 (平成19年3月期)
		金 額	金 額	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益		453	639	2,547
減価償却費		14	12	62
売上債権の減少額(又は増加額△)		769	3,502	△2,856
たな卸資産の減少額(又は増加額△)		△1,554	△234	△1,825
前渡金の減少額(又は増加額△)		△1,632	△67	—
仕入債務の増加額(又は減少額△)		321	△3,936	5,471
前受金の増加額(又は減少額△)		1,288	2,137	1,883
その他資産の減少額(又は増加額△)		△214	△169	△1,024
その他負債の増加額(又は減少額△)		48	124	50
その他		26	△429	150
小 計		△479	1,578	4,460
法人税等の支払額		△683	△761	△1,170
その他		75	76	68
営業活動によるキャッシュ・フロー		△1,088	893	3,358
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー				
固定資産の取得による支出		△6	△3	△79
投資有価証券の取得による支出		△8	△9	△20
投資有価証券の売却による収入		—	—	145
敷金の純減少額(又は純増加額△)		3	0	12
その他		△8	0	△70
投資活動によるキャッシュ・フロー		△20	△14	△12
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増加額(又は純減少額△)		605	600	1
長期借入金の返済による支出		△0	—	△8
自己株式の処分による収入		13	12	19
少数株主に対する配当金の支払額		△4	△5	△4
配当金の支払額		△160	△225	△257
その他		△0	△1	3
財務活動によるキャッシュ・フロー		452	379	△245
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額		2	2	12
V. 現金及び現金同等物の増減額		△653	1,261	3,112
VI. 現金及び現金同等物期首残高		3,330	6,444	3,330
VII. 連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加額		—	—	0
VIII. 現金及び現金同等物四半期末(期末)残高		2,677	7,705	6,444

V セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当四半期

(単位：百万円)

区分	動伝事業	設備装置事業	産業資材事業 その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	10,752	8,073	1,822	20,648	—	20,648
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	161	592	44	798	(798)	—
計	10,914	8,666	1,866	21,447	(798)	20,648
営業費用	10,519	8,458	1,799	20,777	(650)	20,126
営業利益	395	207	67	670	(147)	522

前年同四半期

(単位：百万円)

区分	動伝事業	設備装置事業	産業資材事業 その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	10,975	7,232	1,865	20,074	—	20,074
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	215	193	46	455	(455)	—
計	11,190	7,426	1,912	20,529	(455)	20,074
営業費用	10,704	7,456	1,844	20,005	(299)	19,706
営業利益又は損失(△)	486	△ 30	68	524	(156)	368

前連結会計年度

(単位：百万円)

区分	動伝事業	設備装置事業	産業資材事業 その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	46,753	39,753	7,242	93,749	—	93,749
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	639	2,388	248	3,276	(3,276)	—
計	47,392	42,142	7,490	97,026	(3,276)	93,749
営業費用	45,658	41,093	7,269	94,021	(2,545)	91,476
営業利益	1,734	1,048	221	3,004	(730)	2,273

〔所在地別セグメント情報〕

当四半期及び前年同四半期並びに前連結会計年度

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合がいずれも90%を越えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

VI 受注、販売及び仕入の状況

〔受注実績〕

(単位：百万円、%)

事業の種類別セグメントの名称	受注高	前年同期比(%)	受注残高	前年同期比(%)
動伝事業	11,684	△ 2.6	4,322	+ 59.6
設備装置事業	9,525	△ 5.9	18,832	+ 6.0
産業資材事業その他	1,897	△ 0.9	162	△ 7.0
消去	△ 785	—	△ 1,959	—
合計	22,322	△ 4.6	21,357	+ 6.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

〔販売実績〕

(単位：百万円、%)

事業の種類別セグメントの名称	販売高	前年同期比(%)
動伝事業	10,914	△ 2.5
設備装置事業	8,666	+ 16.7
産業資材事業その他	1,866	△ 2.4
消去	△ 798	—
合計	20,648	+ 2.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

〔仕入実績〕

(単位：百万円、%)

事業の種類別セグメントの名称	仕入高	前年同期比(%)
動伝事業	9,393	△ 2.6
設備装置事業	8,041	△ 2.7
産業資材事業その他	1,672	△ 3.1
消去	△ 798	—
合計	18,308	△ 4.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。